

認知科学期末試験

学籍番号	名前
------	----

実施日：2006年2月15日(木) III限
場 所：T-12教室
試験時間：90分
担当者：Kwok, Misa Grace

注意事項：

- **自作ノート、授業中に挙げた参考文献のみ持込可。**
- 他人のノートのコピー、講義ノートをプリントアウトした紙、その他の文献は持ち込み不可。持ち込んでいるのがわかり次第、カンニングとする。
- テスト開始後、**60分以降の退出は可。**ただし、一度退出した場合の教室への再入場は認めない。
- 試験中の問題に対する**質問は原則として認めない。**何かある場合は、挙手にて合図を行い、担当者に直接質問すること。
- **カンニングが発覚した場合は、認知科学の成績を0点とし、評価は不可となる。**
- 指示があるまで問題用紙を開いたり、回答を始めてはならない。
- 終了の指示があった際は、速やかに筆記用具を置き、解答を終了すること。指示に従わない場合は、カンニングとみなす。

- 問題用紙と解答用紙は同じ用紙である。
- 解答用紙を全員分回収し、担当者が枚数を確認するまで席で**静かに待機**すること。
- 解答用紙には学籍番号と氏名を必ず記入すること。**記入漏れ**のある場合は**0点**とする。
- **解答は、授業での内容を踏まえた上で行うこと。**
- 回答は日本語、英語、中文のどれかで行うこと。それ以外の言語の場合は0点とする。

1. [穴埋め問題]次のアルファベットに当てはまる用語を書きなさい。[1点×20問]

- 1) 記憶には感覚記憶、短期記憶、長期記憶がある。これらを区分する理由は(A)の違いによるものである。感覚記憶では情報はごく短時間だけ(B)に符号化せずに、感覚記憶のままに貯蔵される。特に視覚情報に関する感覚記憶を(C)、聴覚情報に関する感覚記憶を(D)という。短期記憶は、(E)と(F)に分けられる。(F)ではさまざまな情報を(G)として保存し、情報を(G)内で操作することにより、計算や推論などの知的処理を行っているといわれている。
- 2) 心的イメージには意識的な認知過程で生じるイメージ、知覚と密接に結びついたイメージ、幻覚性イメージ、その他の4種類があるといわれている。意識的な認知過程で生じるイメージには、(H)、(I)、(J)がある。これら3つは非常に一般的に起きる現象といわれている。知覚と密接に結びついたイメージには、一般的に起きる現象である(K)、少数の人に起きる(L)、ごく少数にのみ起こる(M)がある。幻覚性イメージには、少数の人に起きる(N)、(O)、特殊な状況で起こる(P)、一般的に起きる(Q)がある。その他としては、特殊な状況で起きる(R)、極少数にしか発生しない(S)、少数の子どもに発生する(T)がある。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P
Q	R	S	T

2. [正誤問題]次の文章が正しければカッコ内に○を、間違えていれば×を書き、さらに間違えている箇所に下線を引き、正しくなるように書き換えなさい。[3点×4問]

- 1) 人間の記憶は、20分後には約20%までに減少する。
()

- 2) 生物が生まれつき持っていて、発現に経験を必要としない行動を、本能行動という。
()

- 3) 文脈理解はトップダウン型情報処理であり、語を認知する上は日常的に行われている。
()

- 4) 感性とは、対象を受動的に直観力で受け止める人間の情報処理過程である。
()

3. [説明問題]カッコ内に含まれる用語をすべて使って、次の事柄を詳しく説明しなさい。
カッコ内に含まれる用語以外の用語を追加して使っても構わない。[10点×2問]

1) 認知科学とは

[心的表象、実験心理学的アプローチ、情報処理アプローチ、認知過程アプローチ、
認知構造アプローチ]

2) ヒューマンエラーとは

[人間工学、ミステイク、スリップ、ラプス、クリティカルシンキング]

3) 非常口の表示が世界的に緑色なのはなぜか？

4) 夕暮れ時に事故が多発するのはなぜか？

～ 時間があまった人はここに授業の感想などを書いてください ～
(試験の成績には関係はありません)